



しあわせ信州

長野県総合5か年計画
しあわせ信州創造プラン2.0
～学びと自治の力で拓く新時代～



長野県企画振興部
平成30年4月19日（木）

目次



しあわせ信州

- ▶ 1 総合計画って何だろう？
- ▶ 2 長野県の総合計画の策定状況
- ▶ 3 長野県の人口
- ▶ 4 長野県を取り巻く状況
- ▶ 5 しあわせ信州創造プラン2.0のポイント
- ▶ 6 政策推進の6つの基本方針
- ▶ 7 重点目標
- ▶ 8 総合的に展開する重点政策
- ▶ 9 地域計画
- ▶ 10 チャレンジプロジェクト
- ▶ 11 「学ぶ県組織」への転換
- ▶ 12 統計ステーションながの

1 総合計画って何だろう？

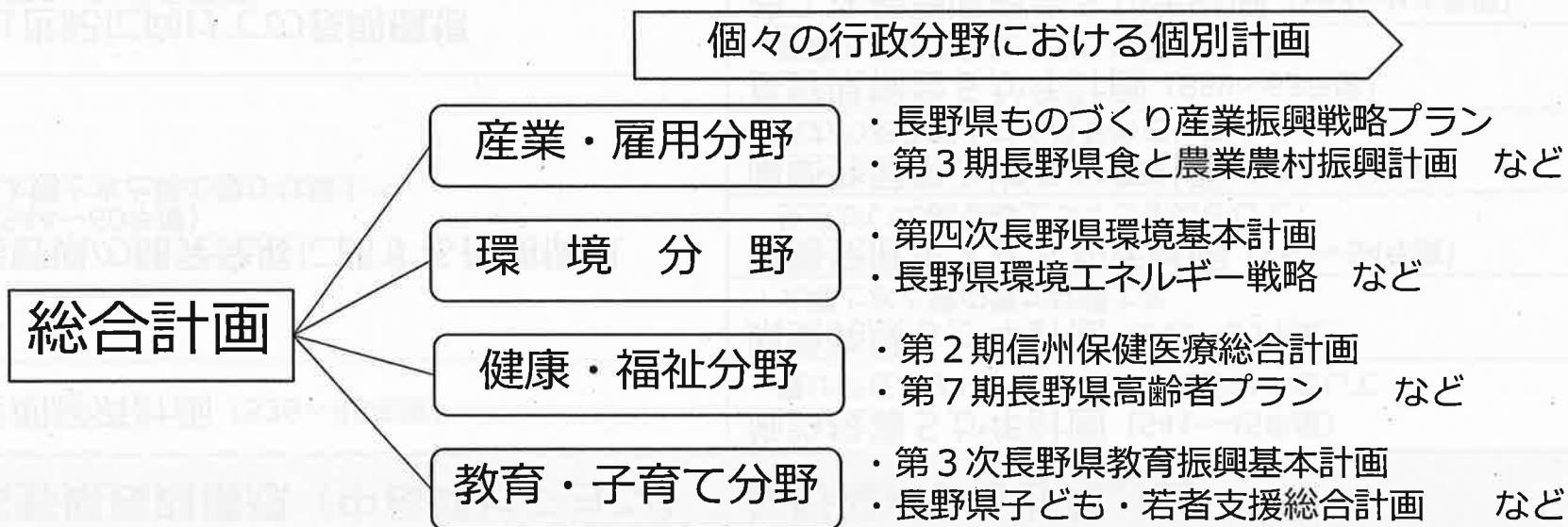
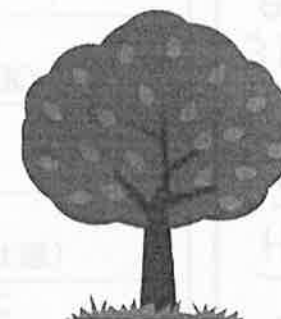
👉 総合計画とは？

「これからどんな長野県をめざすのか」という方向性を示したもので、昭和40年からほぼ切れ目なく策定

👉 総合計画と個別計画との関係は？

具体的な取組が掲載されている個別計画は、総合計画の方向性に沿っている。

つまり、総合計画は県政の**一番太い幹の部分**！



2 長野県の総合計画の策定状況



しあわせ信州

| 長野県長期構想（中長期ビジョン） | 長野県総合5か年計画 |
|---|--|
| 長期経済計画（S36～45年度） | 施設投資5か年計画（S41～45年度） 豊かで住みよい明るい郷土の建設をめざして |
| 長野県の開発発展に関する長期構想 （S44～60年度） 太陽と水と緑の豊かな郷土へ | 県勢発展5か年計画（S46～50年度） 太陽と水と緑の豊かな郷土を |
| | 県勢発展第2次5か年計画（S50～54年度） 生きがいのある郷土づくりをめざして |
| | 県勢発展第3次5か年計画（S54～58年度） 活力のある郷土づくりをめざして |
| 21世紀に向けての長期構想 （S58～21世紀初頭） 一人ひとりの幸福を求めて | 長野県総合5か年計画（S59～63年度） 創造力あふれるたくましい郷土づくり |
| | 第2次長野県総合5か年計画（S63～H4年度） ロマンと創造力あふれる美しい長野県をめざして |
| | 第三次長野県総合5か年計画（H4～8年度） 美しい信州の躍進をめざして |
| 2010年長野県長期構想 （H7～22年度） 地球時代の知恵のくにをめざして | 長野県中期総合計画（H8～12年度） 地球時代に輝く信州をめざして |
| | 第二次長野県中期総合計画（H12～16年度） みんなのために 未来のために |
| 未来への提言（H16～期間の定めなし） 【H25.3廃止】 | （計画なし） |
| | 長野県中期総合計画（H20～24年度） “活力と安心” 人・暮らし・自然が輝く信州 |
| バージョンアップ！ | しあわせ信州創造プラン（H25～29年度） 確かな暮らしが営まれる美しい信州 |
| | しあわせ信州創造プラン2.0（H30～34年度） 確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～ |

信州創生戦略（H27～H31年度）を統合



3 長野県の人口

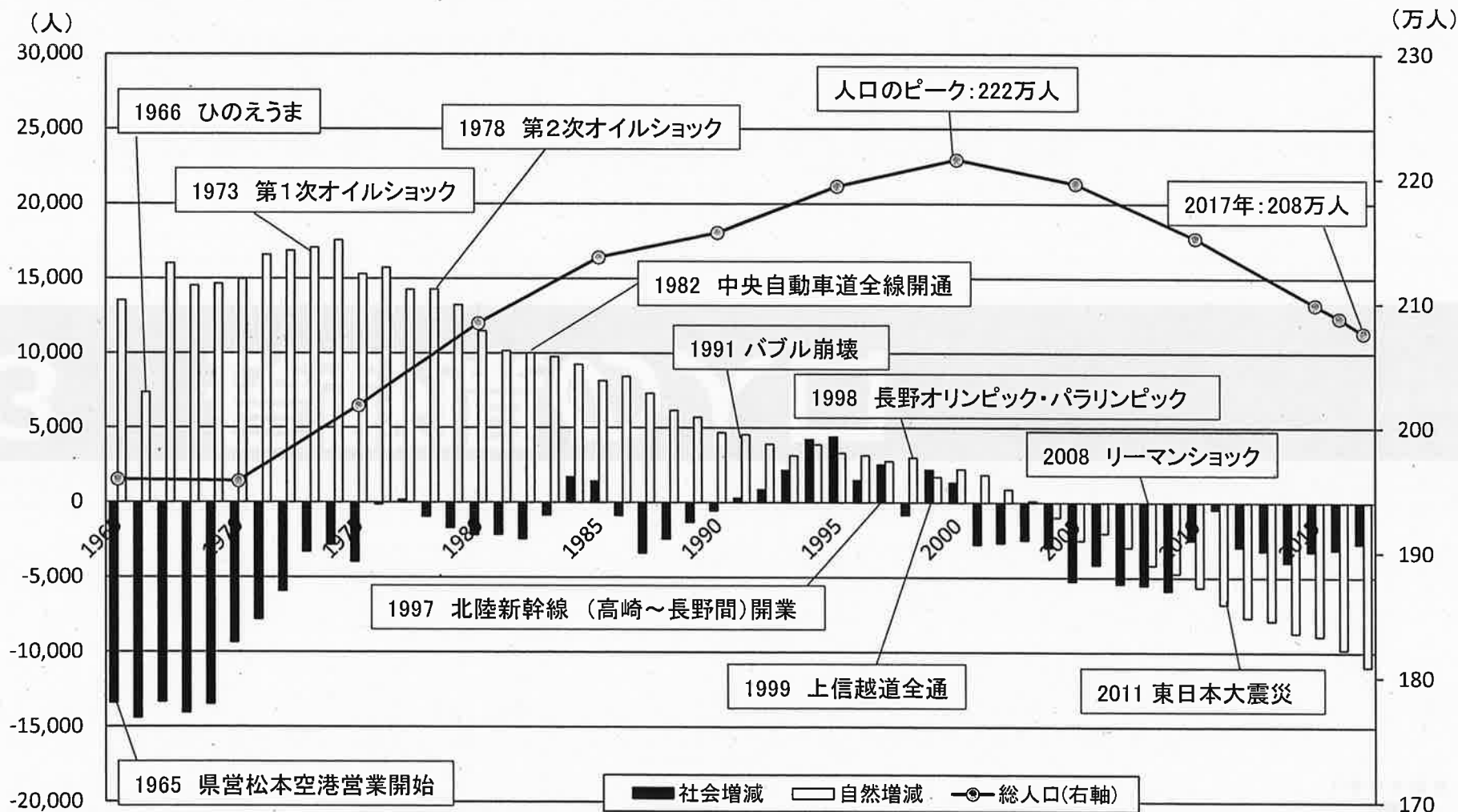
概要冊子
P3



- ・ 現在人口は約100万人を維持している。
- ・ 人口減少傾向が続いているが、300万人を維持している。
- ・ 人口減少傾向が続いているが、300万人を維持している。

3-1 人口の推移

- ・長野県の総人口は2000年を頂点として減少に転じ、2017年の人口は208万人。
- ・自然増減は増加幅が縮小し、2004年以降縮小。社会増減は、2001年から転出超過。
- ・近年は自然減と社会減が相まって減少幅は拡大傾向。

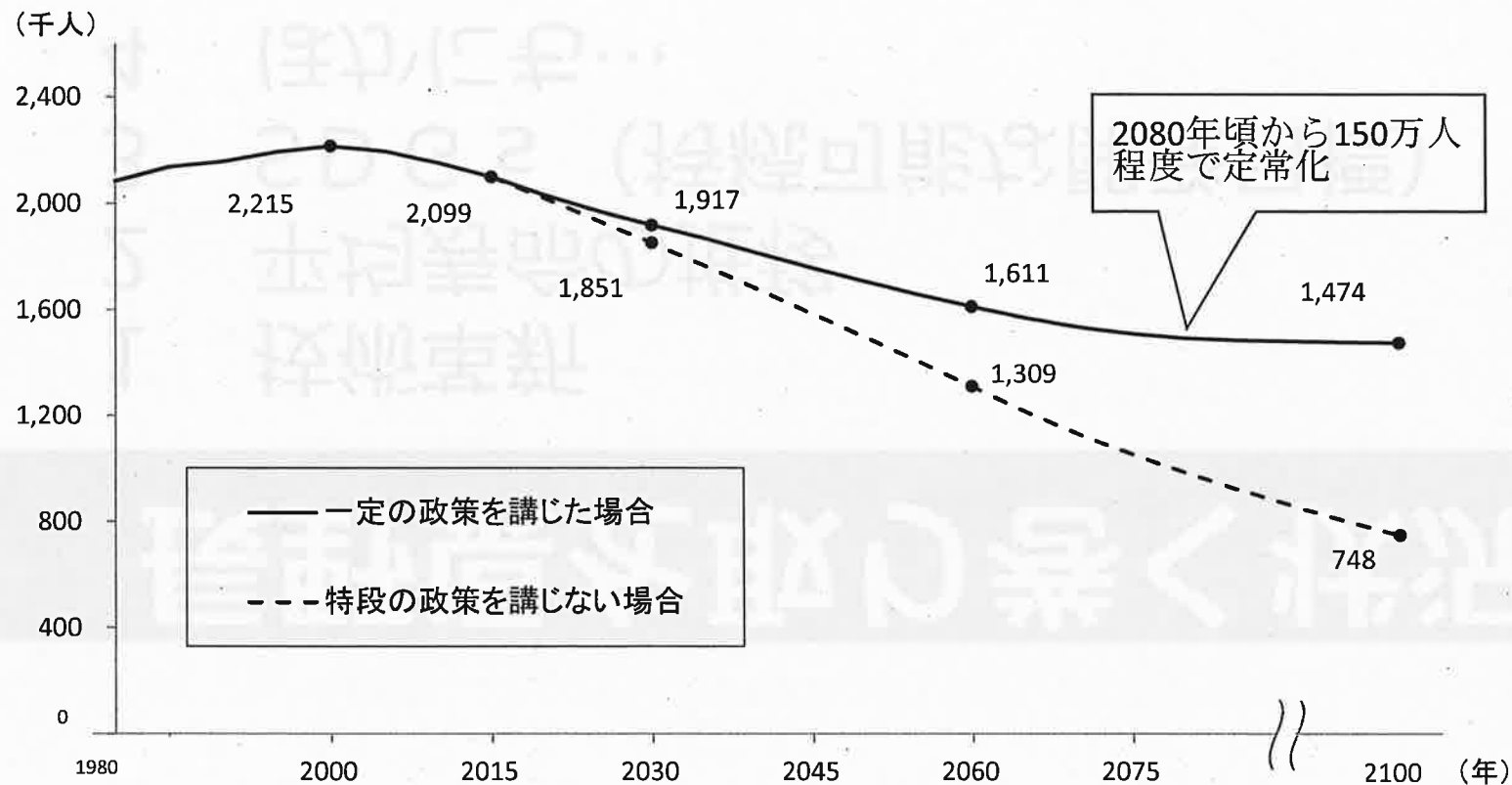


出典：国勢調査（総務省統計局）、毎月人口異動調査（長野県企画振興部）

3-2 人口の将来展望

- ・人口減少に歯止めをかける政策により、将来、合計特殊出生率が回復※1し、社会増減がゼロ※2になった場合でも、2080年頃に150万人程度で定常化するまで減少が続く見込み。

〔※1 2025年に県民希望出生率である1.84、2035年に人口置換水準である2.07〕
〔※2 2025年に転入・転出が均衡〕



出典：2015年までは国勢調査、その後は長野県企画振興部推計
「一定の政策を講じた場合」は、国、都道府県、市町村が人口減少に歯止めをかける政策を講じた場合の推計
「特段の政策を講じない場合」は、「日本の地域別将来推計人口 平成25年3月」（国立社会保障・人口問題研究所）を基に現状の継続を前提として推計



4 長野県を取り巻く状況

- 1 技術革新
- 2 平均寿命の推移
- 3 SDGs（持続可能な開発目標）
- 4 ほかにも…

4-1 技術革新



【Society5.0と第4次産業革命の相関】

- ・世界では、第4次産業革命と呼ばれるAI、IoT、ロボットなどの技術革新が急速に進展。
- ・日本でも、技術革新を活用して新たな価値やサービスを創り出す「Society5.0」の動きが始まっている。

Society 5.0につながるConnected Industries

<社会の変化>

狩猟社会 → 農耕社会 → 工業社会 → 情報社会 → Society 5.0
超スマート社会

<産業の在り方の変化>

個々の産業ごとに発展

Connected Industries

- ・様々なつながりによる新たな付加価値の創出
- ・従来、独立・対立関係にあったものが融合し、変化
→新たなビジネスモデルが誕生

新たな
社会を形成
人間中心
課題解決型

もの×もの
人間×機械・システム
企業×企業
人間×人間
(知識や技能の継承)
生産×消費

日本の現場力×デジタル
多様な協働

<技術の変化>

第1次産業革命
動力を取得
(蒸気機関)

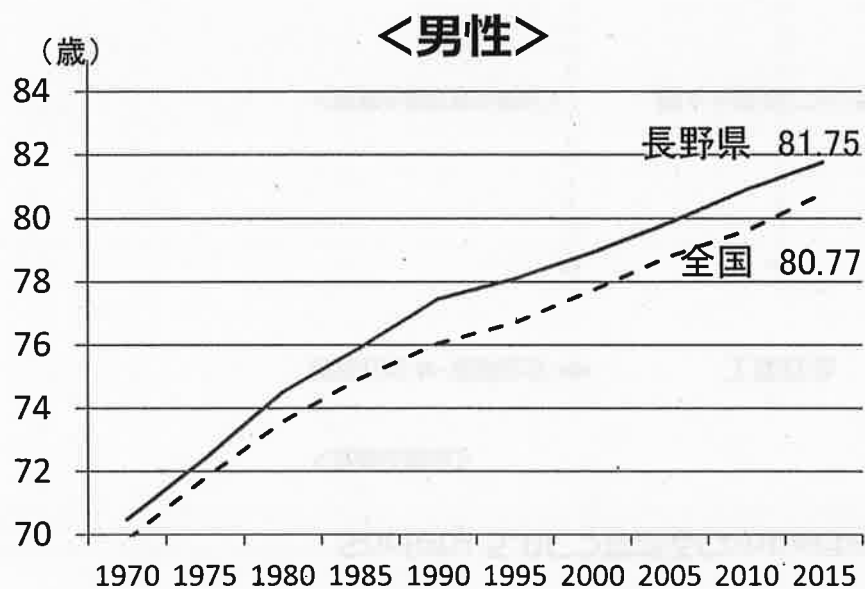
第2次産業革命
動力が革新
(電力・モーター)

第3次産業革命
自動化が進む
(コンピュータ)

第4次産業革命
自律的な最適化が可能に
大量の情報に基づき人工知能が
自ら考えて最適な行動をとる

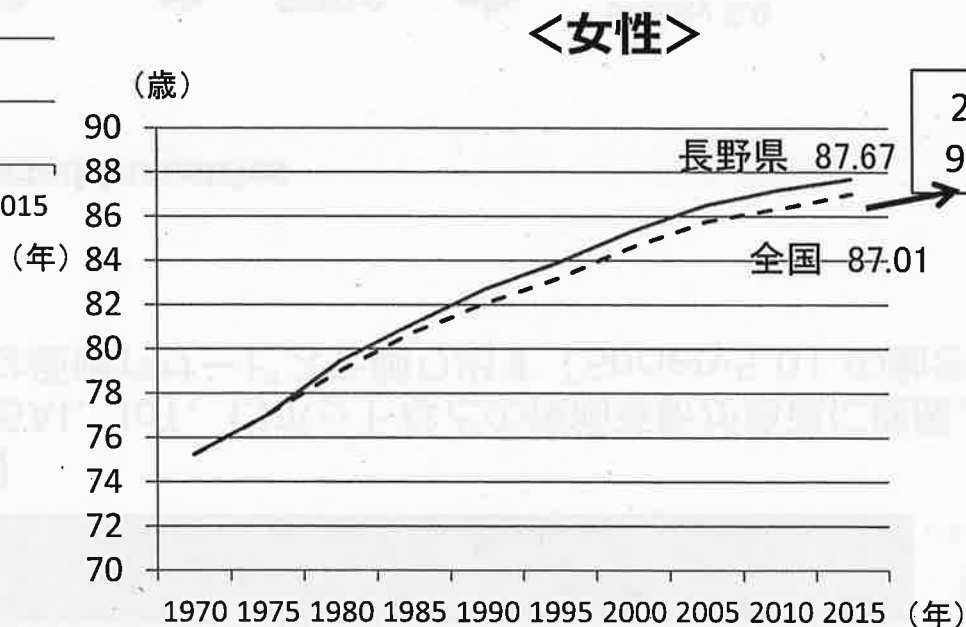
4-2 平均寿命の推移

- ・日本の平均寿命は延伸が続き、2065年には男性84.95歳、女性91.35歳になると予測。
- ・長野県の平均寿命は、2015年に女性が全国1位(87.67歳)、男性が全国2位(81.75歳)で全国有数の長寿県。



2065年
84.95歳

人生100年時代へ



2065年
91.35歳

4-3 SDGs (持続可能な開発目標)

- ・誰一人取り残さない持続可能な社会をつくるための「世界共通のモノサシ」。
- ・経済・社会・環境の課題を統合的に解決するSDGs (持続可能な開発目標) への取組が、先進国・開発途上国を問わず世界的にスタート。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



※SDGs (I・D・E・I・G・S)

：2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた17の開発目標

【広域交通ネットワークの変化】

- ・リニア中央新幹線、北陸新幹線、高速道路、信州まつもと空港などの広域交通網が充実。



【地域交通】

- ・人口減少や自家用車の普及により地域交通の利用者が減少。地域の「生活の足」の維持が困難になりつつある。



4-4 ほかにも…

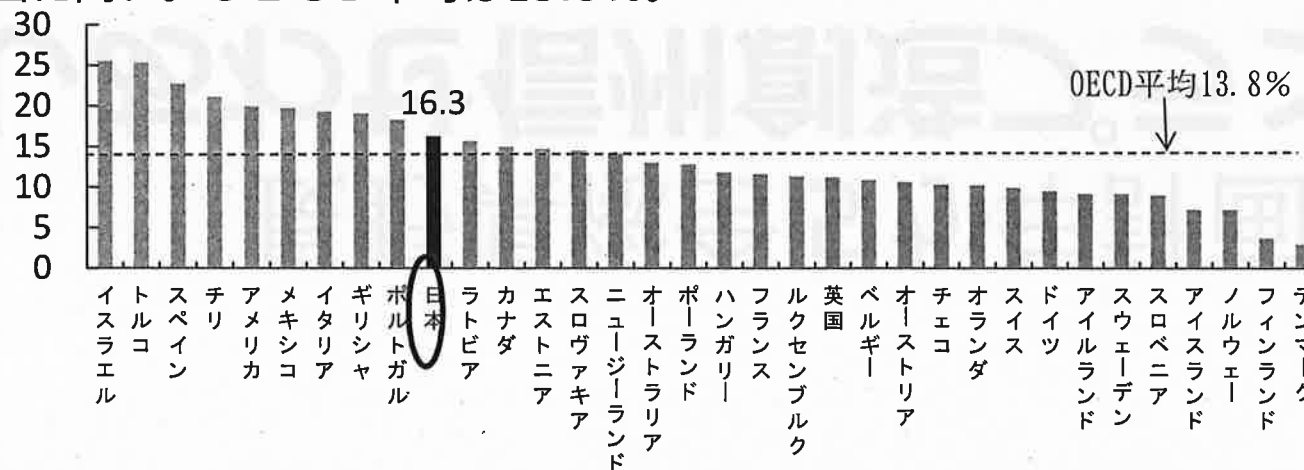
【東京オリンピック・パラリンピックの開催】

- 日本や長野県を訪れる外国人観光客が増加中。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、海外との交流が一層盛んになると見込まれる。



【子どもの貧困率】

- 貧困や所得格差が拡大傾向にあり、日本の子どもの貧困率（16.3%）はOECD加盟34か国中10番目に高い。OECD平均は13.8%。





長野県総合5か年計画 しあわせ信州創造プラン2.0

[基本目標]

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～



5 しあわせ信州創造プラン2.0のポイント

概要冊子
P1,2



しあわせ信州

「学びと自治の力※1」 を推進エンジンに

地域に根付く学びの風土
と自主自立の県民性を
再認識し、その力を最大
限に発揮。

中長期的に取り組む チャレンジプロジェクト

あるべき姿を見据え、敢
えて難しい課題に挑戦。
実行しながら考え、深化
する成長型プロジェクト。

地域重視の観点で 「地域計画」を充実

10の広域圏ごとに特色
ある内容とし、分量も
充実。

※1 「学びと自治の力」とは

与えられるだけの受動的な教育
ではなく、自らを高めるために
主体的に学び、これを社会や組
織の中で共有し、各人が協働し
て地域地域の課題を解決してい
こうとする力

SDGs（持続可能な 開発目標）を意識

経済・社会・環境の3側
面の課題に統合的に取り
組み、誰一人取り残され
ない社会を実現。

「信州創生戦略」を 統合・吸収

人口減少社会への対応
を重視し、戦略の政策
や達成目標をできる限り
踏襲。

「学ぶ県組織」への転換

学びの県づくり

＜クリエイティブな社会をつくる
～産業や地域のイノベーションを促進する～＞

産業の生産性が
高い県づくり

人をひきつける
快適な県づくり

＜安心して希望あふれる社会をつくる～県民の思いに寄り添う～＞

いのちを守り
育む県づくり

誰にでも居場所
と出番がある
県づくり

「学びと自治の力」が推進
エンジンとなって政策を展開

自治の力みなぎる県づくり

7 重点目標

概要冊子
P9,10



しあわせ信州

＜クリエイティブな社会をつくる

～産業や地域のイノベーションを促進する～＞

付加価値を高め、経済成長を実現

＜労働生産性＞

7,314千円/人 → **8,065千円/人**
2014年度 2020年度

県民の豊かさ、全国トップレベルを維持

＜県民一人当たり家計可処分所得＞

2,409千円 → **2,785千円**
2014年度 2020年度

人口の社会増を実現

＜社会増減※＞

▲739人 → **社会増**
2017年 2022年

※転入者と
転出者の差

**インバウンド需要を取り込み、観光消費額
を増加**

＜観光消費額＞

7,320億円 → **8,100億円**
2016年 2022年

＜安心して希望あふれる社会をつくる～県民の思いに寄り添う～＞

2025年に県民希望出生率1.84を実現

＜合計特殊出生率＞

1.59 → **1.76**
2016年 2022年
(全国12位)

様々な人の労働参加を全国トップに

＜就業率＞

60.7% → **61.5%**
2016年 2022年
(全国5位)

健康長寿日本一を維持

＜健康寿命＞

全国1位(2013年) → **全国1位**
[男性79.80年 女性84.32年]

**再生可能エネルギー自給率100%地域を
めざし自給率向上**

＜再生可能エネルギー自給率＞

8.0% → **12.9%**
2015年度 2020年度

8 総合的に展開する重点政策



しあわせ信州

6つの基本方針ごとに計画期間中に取り組む政策を“総合的に展開する重点政策”として整理。

6つの基本方針

1 学びの県づくり

2 産業の生産性が高い県づくり

3 人をひきつける快適な県づくり

4 いのちを守り育む県づくり

5 誰にでも居場所と出番がある県づくり

6 自治の力みなぎる県づくり

8-1 学びの県づくり



子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している「学びの県」をめざします。

1 生きる力と創造性を育む教育の推進

- ・ 未来を切り拓く確かな学力の育成
- ・ 豊かな心と健やかな身体の育成
- ・ すべての子どもの学びの保障

3 高等教育の振興による 知の拠点づくり

- ・ 県内高等教育機関の魅力向上
- ・ 県内高等教育機関を核とした地域づくり

2 地域とともに取り組む 楽しい学校づくり

- ・ 地域と学校が連携した教育の推進
- ・ 教員と児童生徒が向き合うための環境整備

4 生涯を通じて学べる 環境の整備

- ・ 学びをサポートする人材育成
- ・ 地域における学びの場の整備



8-2 産業の生産性が高い県づくり

概要冊子
P13~15



しあわせ信州

時代の変化に柔軟に対応する産業が持続的に発展し、地域の活力を生み、県民の生活を支えている「産業の生産性が高い県」をめざします。

1 革新力に富んだ産業の創出・育成

- ・ 成長産業の創出・集積
- ・ AI・IoT等の活用による生産性向上
- ・ 起業・スタートアップへの支援

2 地域内経済循環の促進

- ・ 地消地産の推進・県産品消費の拡大
- ・ 信州農畜産物の活用拡大
- ・ 信州の木自給圏の構築
- ・ エネルギー自立地域の確立

3 海外との未来志向の連携

- ・ 海外活力の取り込み強化
- ・ 国際連携の強化

4 収益性と創造性の高い農林業の推進

- ・ 次代を担う人材の確保
- ・ 多様な技術の活用による効率的な経営の促進
- ・ 需要を創出するマーケティングの展開
- ・ 消費者とつながる信州の「食」の推進
- ・ 森林の持続的な管理と多面的な利活用

5 地域に根差した産業の振興

- ・ 活力あるサービス産業
- ・ 時代をつなぐ伝統的工芸品産業
- ・ 暮らしを支える建設産業

6 郷学郷就の産業人材育成・確保

- ・ 人口減少時代の産業人材育成・確保
- ・ 技術革新の進展への対応
- ・ 働き方改革の推進とAI・IoT等の活用



8-3 人をひきつける快適な県づくり①

概要冊子
P 17,18



しあわせ信州

自然・文化と利便性をあわせもつ質の高い生活を送り、国内外と活発に交流をしながら人生を楽しめる「人をひきつける快適な県」をめざします。

1 信州と関わりを持つ 「つながり人口」の拡大

- ・ 移住・交流の新展開
- ・ 多様な働き方暮らし方の提案・支援

2 世界を魅了する しあわせ観光地域づくり

- ・ 観光の担い手としての経営体づくり
- ・ 観光地域としての基盤づくり
- ・ 世界から観光客を呼び込む
インバウンド戦略



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

3 心豊かな暮らしを実現 する文化芸術の振興

- ・ 文化芸術に親しむ基盤づくり
- ・ 地域に根付く文化芸術の継承・活用

4 2027年国民体育大会 全国障害者スポーツ大会 に向けたスポーツ振興

- ・ 2027年大会に向けた体制整備
- ・ スポーツによる元気な地域づくり

5 市街地の活性化と快適な 生活空間の創造

- ・ 潤いのあるまち・むらづくり
- ・ 官民施設の有効活用

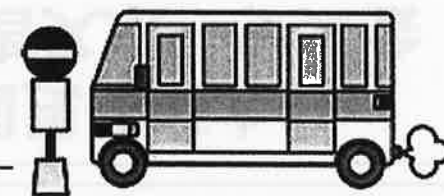
8-3 人をひきつける快適な県づくり②

6 中山間地域での暮らしの 価値の再発見

- ・コミュニティを支える人づくり
- ・創造的な暮らしの基盤づくり

8 生活を支える地域交通 の確保

- ・自家用車に依存しない地域づくり
- ・生活の基盤となる道路網の整備



7 先端技術の積極的な 活用・導入

- ・暮らしや産業での先端技術の利活用促進
- ・シェアリングエコノミーなど新たな仕組みの導入促進
- ・情報インフラの整備



9 本州中部広域交流圏 の形成

- ・鉄道の整備促進・利便性向上
- ・高規格幹線道路、地域高規格道路の整備
- ・信州まつもと空港の発展・国際化の実現

8-4 いのちを守り育む県づくり

自らの健康と豊かな自然環境を守り、安心できる暮らしを次世代に継承している「いのちを守り育む県」をめざします。

1 県土の強靱化

- ・ 消防防災体制の充実
- ・ 災害に強いインフラ整備

2 ライフステージに応じた健康づくりの支援

- ・ 保健活動の推進
- ・ 信州ACE (I-S) プロジェクトの新展開

3 医療・介護提供体制の充実

- ・ ニーズに応える医療の提供
- ・ 医療従事者の養成・確保
- ・ 心と身体の健康を守る疾病対策の推進
- ・ 地域包括ケア体制の確立

4 生命・生活リスクの軽減

- ・ 生きることを包括的に支える自殺対策の強化
- ・ 交通安全対策の推進
- ・ 山岳遭難の防止
- ・ 消費生活の安定と向上
- ・ 食品・医療品等の安全確保
- ・ 犯罪のない安全な社会づくり



5 地球環境への貢献

- ・ 脱炭素社会の構築
- ・ 生物多様性の保全
- ・ 水・大気環境等の保全
- ・ 循環型社会の形成

8-5 誰にでも居場所と出番がある県づくり



誰もが等しく社会からその存在と役割を認められ、自らの可能性に挑戦し、自分らしく生きている「誰にでも居場所と出番がある県」をめざします。

1 多様性を尊重する 共生社会づくり

- ・障がい者が暮らしやすい地域づくり
- ・福祉を支える体制の充実
- ・社会的援護の促進
- ・人権を尊重する社会づくり

2 女性が輝く社会づくり

- ・女性が活躍できる職場づくり
- ・女性の交流や学びの場づくり
- ・男女が共に支え合う社会づくり



3 人生二毛作社会の実現

- ・シニア世代の社会参加の促進
- ・活躍するための健康づくり

4 若者のライフデザインの 希望実現

- ・結婚の希望の実現
- ・妊娠・出産の安心向上
- ・魅力ある子育て環境づくり

5 子ども・若者が夢を 持てる社会づくり

- ・困難を抱える子どもへの支援
- ・子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

8-6 自治の力みなぎる県づくり

多様な主体が協働しながら地域の課題解決に自ら取り組み、県全体の魅力を高めている「自治の力みなぎる県」をめざします。

1 個性豊かな地域づくりの推進

- ・自主的な地域づくりへの支援
- ・新時代に適合した県と市町村の関係構築
- ・多様な主体との連携・協働

2 信州のブランド力向上と発信

- ・継続的な信州のブランド力向上

3 地域振興局を核とした地域課題の解決

- ・広域圏ごとに地域計画を策定



充実しました

地域のめざす姿

【長野地域】

「活力あふれ・人が集い・文化薫る」中核的都市圏の形成へ

【北アルプス地域】

北アルプス地域に「暮らす人」誰もが自信と誇りを持ち、「訪れる人」すべてが感動と喜びを実感できる地域をめざします

【松本地域】

美しい信州の中心に世界の人々が集い、賑わいあふれ、住みやすい松本地域をめざします

【木曾地域】

人口減少下でも「木曾らしい」上質な生活が安全に営め、自己実現ができる地域であり続けるために

【南信州地域】

伝統と最先端が響き合う「リニア新時代」のフロンティア～南信州～

北信

【北信地域】

雪とともに育む
ふるさと
豊かな故郷北信州

長野

北アルプス

【上田地域】

多様な人材を呼び込み、人の力で輝く「上田地域」の創造

上田

松本

佐久

【佐久地域】

佐久の健康長寿や多様な産業等の地域の特長（魅力）を活かすとともに、地域外との交流を助け、住んでよし、訪れてよし、の地域をめざします

諏訪

木曾

上伊那

【諏訪地域】

諏訪湖や八ヶ岳が育む「豊かな自然」と地域の強みを活かした「競争力のある産業」が共存する地域の実現

南信州

【上伊那地域】

リニアの時代へ世界とつながり豊かな暮らしが営まれる伊那谷 (INA Valley)

10 チャレンジプロジェクト



しあわせ信州

- ▶ 概ね2030年のあるべき姿から振り返って、今何をすべきか考え組み立てた政策の方向性
- ▶ 未来の長野県づくりに向け、組織・分野を越えて、敢えて難しい課題に挑戦

6つのプロジェクト

プロジェクト=P J

- I 人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくり P J
- II 共創を促進するイノベーティブな産業圏づくり P J
- III 未来に続く魅力あるまちづくり P J
- IV 美しく豊かな木と森の文化の再生・創造 P J
- V 安心できる持続可能な医療・介護の構築 P J
- VI 人生のマルチステージ時代における多様な生き方の支援 P J



I 人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくりプロジェクト

【課題】

- ✓人生100年時代の変化に
 対応する学びへの転換
- ✓これからの社会を生き
 抜く力の養成
- ✓学びを大切にする土壌
 と県民性の継承・発展

【チャレンジ】

県全体を「学びのフィールド」に

- 地域と学校が一体となった子どもたちの学びの支援
- リアルとバーチャルのベストミックス
- アート&スポーツによる学び

II 共創を促進するイノベティブな産業圏づくりプロジェクト

【課題】

- ✓経済環境や技術の急速な
 変化
- ✓自前主義・垂直連携から
 水平連携への世界的な
 流れ
- ✓イノベーションを創出
 する人材の不足

【チャレンジ】

絶え間なくイノベーションを生み出し続ける 環境・基盤を整備

- 大学等を核とした共創クラスターの形成
- 次代の産業構造構築に向けた支援体制の強化



Ⅲ 未来に続く魅力あるまちづくりプロジェクト

【課題】

- ✓人口減少と人口密度低下によるまちの機能低下
- ✓従来の手法でのまちの機能維持への懸念
- ✓環境負荷がまちの持続可能性にも影響

【チャレンジ】

公・民・学が連携した「信州地域デザインセンター(仮)」を設置し、地域がめざすこれからのまちづくり・まちづかいをトータルで支援

- 潤いと楽しみのあるまち
- 持続可能なまち

Ⅳ 美しく豊かな木と森の文化の再生・創造プロジェクト

【課題】

- ✓“木や森”と人との関わりの喪失
- ✓森林管理の空洞化
- ✓森林の財産価値の低下

【チャレンジ】

県民全体が森林の価値を見出し、その恵みを享受する、木を利用し森を活用する地域社会を長野県からつくる

- 木や森と人とのつながりの再生・創造
- 森林などの地域資源で自立した社会の構築
- 木や森を活かす人づくり



V 安心できる持続可能な医療・介護の構築プロジェクト

【課題】

- ✓医療・介護提供体制の持続可能性への懸念
- ✓健康長寿県を支えてきた生活習慣の変化

【チャレンジ】

人生100年時代に、住み慣れた地域で暮らし続けられる安心を確保

- 長寿社会を支える医療・介護の追求
- 健康長寿世界一の実現

VI 人生のマルチステージ時代における多様な生き方の支援プロジェクト

【課題】

- ✓人生100年時代の到来
- ✓人生の選択肢の広がり

【チャレンジ】

人生100年時代のライフスタイルを選択できる社会へ変革

- 複線型・多段階の働き・学びの支援
- クリエイティブ・フロンティアの創造

11 「学ぶ県組織」への転換

- ・職員一人ひとりが、「学びと自治の実践者」として新たな知識や技術を主体的に学び続ける
- ・職員の能力を最大限に活かす機能的な組織として、「学ぶ県組織」へ転換

【取組内容】

- ▶ 目的達成力の高い機能的組織構造の実現
- ▶ 俊敏で的確な行動のための組織運営システムの構築
- ▶ 共創を推進する組織能力の強化
- ▶ 外部環境の変化を自ら分析し、自律的に行動できる人づくりの推進
- ▶ 県民起点を徹底する組織風土の形成

効果的・効率的な行政経営を推進し、行政サービスの質を向上させていくための取組方針です

